



前よりいい町にしてやる大笑いできるその日まごはんをつくれる、幸



復興の狼煙

あの震災は、我々に何を残したのだろうか。

被災者たちの真っ直ぐな眼差し、力強い言葉。あの地からのメッセージが、被災経験のない備後に住む我々の心を、直接揺さぶる。被災地の人たちは多くのものを失った。しかし、彼らは別の大切なものを見つけた。

ポスター展と講演会



あたりまえが、愛おし



釜石、屈してたま



虚しさも切ってあげた

ついてきて、おとなた

続く未来に胸張れるよ

復興の狼煙 ポスター展

会期 2012年12月12日(水)~27日(木)
 会場 福山市中央図書館
 1F展示コーナー
 主催 福山市中央図書館
 福山市霞町 1-10-1
 TEL (084) 932-7222

復興の狼煙 講演会

開催日 2012年12月15日(土)
 開催時間 15:00~17:00 (開場14:30)
 会場 まなびの館 ローズコム 4F大会議室
 講師 佐々木 昌彦/復興の狼煙プロデューサー
 阿部 恒之/東北大学 心理学講座教授
 主催 若い才能を応援する会
 代表/津森祐一 TEL (0847) 51-9566
 Yic-tsumori@hi.enjoy.ne.jp
 後援 福山市・福山市教育委員会
 東北大学大学院文学研究科

講演者 プロフィール

佐々木 昌彦

岩手県遠野市出身、盛岡市在住。
 復興の狼煙プロジェクトのコピーライターであり、プロデューサー。被害の大きかった岩手県沿岸部の人たちに何かできることはないかと悩み、友人の写真家とプロジェクトを立ち上げる。気付いたら多くの仲間にもまれていた。



阿部 恒之

東北大学大学院文学研究科 心理学講座教授、文学博士。
 著書に「ストレスと化粧の社会心理学」など。主として感情心理学の授業を担当。今回の大震災の後、多くの被災者を対象に被災体験を聞きとり調査。「データから見た震災の実態と被災地の思い」をテーマに講演。

